

# 広報真庭

6  
2019

第170号

- 主な記事
- 特集 大雨災害への備え P02～
  - 市政トピックス P10～
  - お知らせ P12～
  - 真庭が好きっ読者の広場 P28～
  - 真庭人 竹本正義さん P32～
  - 研鑽に荣誉 P33～
  - ぐるっと真庭 まちの話題 P34～

ピチピチ

チャプチャプ らんらん  
チャプチャプ らんらん



5月20日、カメラを持って米来幼稚園にお邪魔しました。  
この日は少し雨が降っていたのですが、  
園児たちはとても元気で、素敵な笑顔を見せてくれました。

# 大雨災害への備え

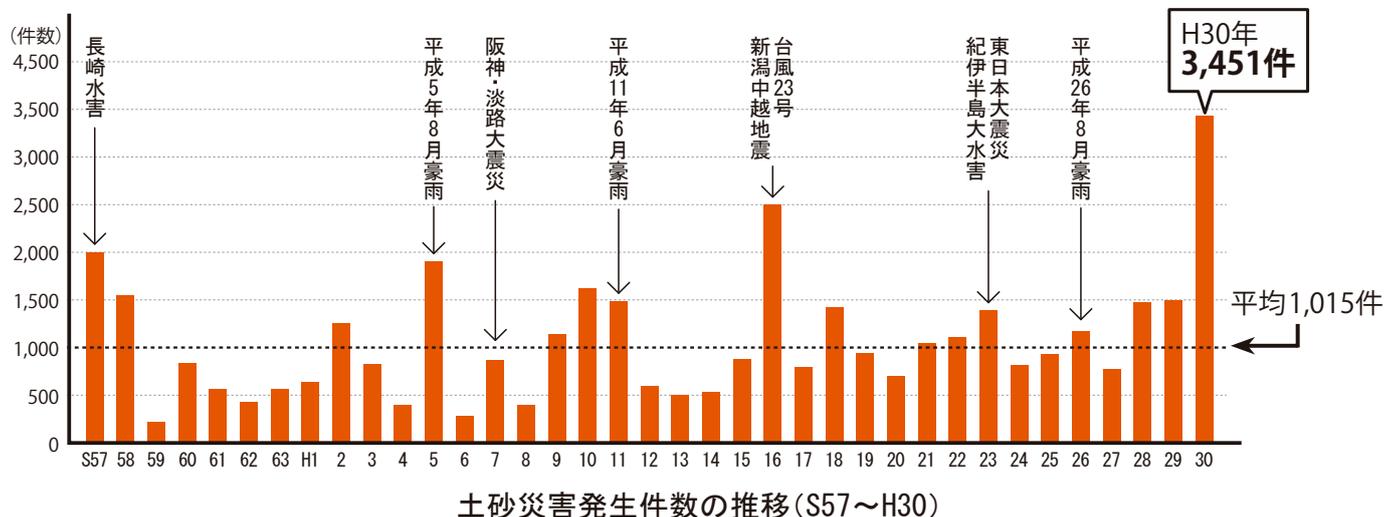
## ～平成30年7月豪雨から1年～

西日本を中心に広範囲で被害をもたらした平成30年7月豪雨。真庭市内でも全域で雨が降り続き、床上・床下浸水、土砂災害や路肩崩壊による通行止めなど、多くの災害が発生しました。

いつ、どこで発生するか分からない気象災害ですが、身のまわりにどのような危険があるのかを事前に確認し、さまざまな方法で発信されている防災気象情報を有効に活用することで、被害を減らすことができます。

出水期を前に、災害への備えを再確認してみましょう。

### 平成30年：土砂災害発生件数が過去最多件数を記録



※平成30年12月25日国土交通省 報道発表資料より

## 大雨災害

大雨による災害は、土砂災害、

浸水害、洪水害などがあります。

平成30年は、全国の土砂災害発生件数が3451件で、集計が開始された昭和57年以降における平均発生件数1015件の約3・4倍になりました。

平成30年7月豪雨では、浸水被害、洪水被害により多くの尊い命、財産が奪われました。

山の多い日本では、土砂災害が毎年のように全国各地で発生しています。ひとたび土砂災害が発生すると、すさまじい破壊力で一瞬にして多くの命や財産などが奪われます。

中山間地の真庭市では、一番身近な災害として土砂災害が発生する可能性が非常に高いので、十分に注意しましょう。

### 大雨災害の種類

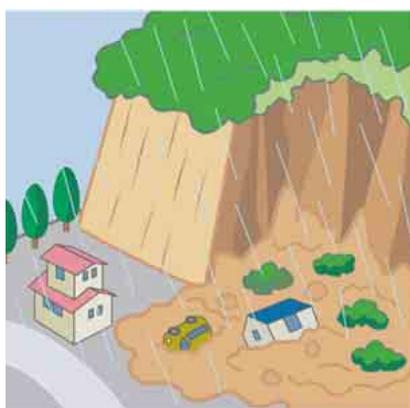
#### I 土砂災害

- ①がけ崩れ
- ②地すべり
- ③土石流

#### II 浸水害

#### III 洪水害

ダム の 放 流 に よ る 増 水 に も 注 意 し ま し ょ う



### がけ崩れ発生の前兆現象

#### こんな時は危険です!

- ・ 斜面に亀裂ができる。
- ・ がけから水が湧き出している。
- ・ がけから小石がパラパラと落ち出す。

## ①がけ崩れ

がけ崩れは、急な斜面が突然崩れ落ちる現象です。雨水や雪どけ水が、がけにたくさんしみこんだことが原因で起きたり、地震の揺れによって起きたりします。



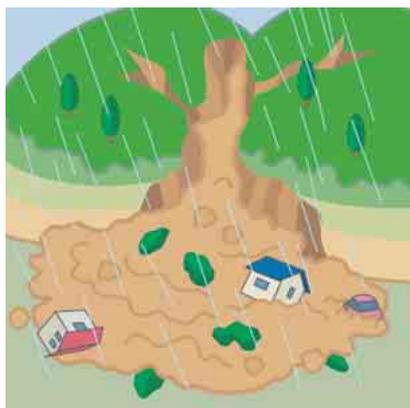
### 地すべり発生の前兆現象

#### こんな時は危険です!

- ・ 木の根が切れる音がする。
- ・ 地面に亀裂や段差が生じる。
- ・ 沢や井戸の水が濁る。
- ・ 地鳴りや山鳴りがする。

## ②地すべり

地すべりは、比較的ゆるやかな斜面が、広い範囲にわたって、すべり落ちていく現象です。時により、人家や畑を押し流し流し大きな被害をもたらします。



### 土石流発生の前兆現象

#### こんな時は危険です!

- ・ 流れる水が異常に濁っている。
- ・ 流木が流れてくる。
- ・ 地鳴りや泥くさい臭いがする。
- ・ 溪流の水位が急に減少する。

## ③土石流

土石流とは、山や谷の土砂が大雨などで崩れ、水とまじってどろどろになり、ものすごい勢いでふもとに向かって流れていく現象です。

# 防災気象情報とは

防災気象情報とは、風水害や土砂災害など気象災害を未然に防止したり拡大を防止したりするため、岡山地方気象台が発表する特別警報・警報・注意報や岡山県と岡山地方気象台が共同発表する土砂災害警戒情報などです。

発表された防災気象情報は、直接に関係する防災機関や自治体に伝達されると同時に、テレビやラジオ、インターネットなどを通じて報道されています。防災気象情報は、パソコンだけではなく、携帯電話やスマートフォンなどでも入手することができます。

真庭市では、警報発表時などには行政告知放送でお知らせするとともに、真庭いきいきテレビのデー夕放送でもお知らせしています。

## 気象警報・注意報

気象警報・注意報は、過去の災害発生時の気象現象に基づき、注意や警戒を呼びかけるため、災害が起こるおそれがある気象現象が予想されるときは「**注意報**」が、重大な災害が起こるおそれがある気象現象が予想されるときは「**警報**」が、さらに、数十年に1度という極めてまれで異常な気象現象で重大な災害が起こるおそれが著しく大

きいときは「**特別警報**」が、市町村単位で発表されます。

## 警戒レベルで避難情報を発信します

平成30年7月豪雨では、避難をためらい犠牲となるケースが相次いだことを教訓に、気象庁や自治体などが出している防災情報を5段階の「警戒レベル」で整理し、危険の度合と取るべき行動を伝えるようにします。

(4〜5ページの表および図のとおり)  
「警戒レベル5」

平成30年7月豪雨の際にも発令された「大雨特別警報」や堤防が決壊などを知らせる「氾濫発生情報」は、**災害がすでに発生している状況で、命を守る行動を呼びかけます。**

「警戒レベル4」

「土砂災害警戒情報」や川の氾濫の危険を知らせる「氾濫危険情報」をもとに、**避難勧告や避難指示(緊急)**で全員の避難を強く呼びかけます。

「警戒レベル3」

「大雨警報(土砂災害)」や「氾濫警戒情報」をもとに、**避難準備・高齢者等避難開始**を呼びかけます。

※「災害が発生する前のレベル4のうち

ちに全員が避難」を目標に、今年

の出水期(6月)から運用します。

## 《避難情報など》

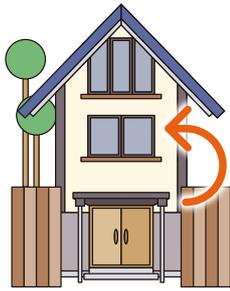
## 《防災気象情報》

警戒レベル	避難行動など	避難情報など	【警戒レベル相当情報(例)】
<b>警戒レベル5</b>	既に <b>災害が発生している状況です</b> <b>命を守るための最善の行動</b> をとりましょう	<b>災害発生情報</b> 災害が実際に発生していることを把握した場合に、可能な範囲で発令 【真庭市が発令】	<b>警戒レベル5相当情報</b> 氾濫発生情報 大雨特別警報など
<b>警戒レベル4</b>	<b>速やかに避難先へ避難</b> しましょう。 公的な避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所へ避難しましょう。	<b>避難勧告 避難指示(緊急)</b> 地域の状況に応じて緊急的または重ねて避難を促す場合などに発令 【真庭市が発令】	<b>警戒レベル4相当情報</b> 氾濫危険情報 土砂災害警戒情報など
<b>警戒レベル3</b>	<b>避難に時間を要する人(高齢の人、障害のある人、乳幼児など)とその支援者は避難</b> をしましょう。その他の人は、避難の準備を整えましょう	<b>避難準備・ 高齢者等避難開始</b> 【真庭市が発令】	<b>警戒レベル3相当情報</b> 氾濫警戒情報 大雨洪水警報など
<b>警戒レベル2</b>	避難に備え、ハザードマップなどにより、自らの避難行動を確認しましょう。	<b>洪水注意報 大雨注意報など</b> 【気象庁が発表】	これらは住民が自主的に避難行動をとるために参考とする情報です。
<b>警戒レベル1</b>	災害の心構えを高めましょう。	<b>早期注意情報</b> 【気象庁が発表】	

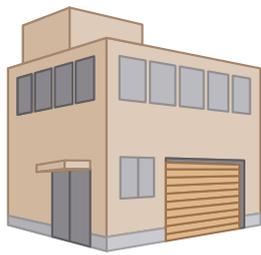
各種情報は警戒レベル1〜5の順番で発表されるとは限りません。状況が急変することもあります。

# 防災気象情報と避難情報

## ①最初に避難する場所



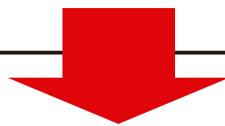
1階から2階へ  
(垂直避難)



親戚の家や  
近くの安全な場所



指定緊急  
避難場所



## ②一定期間避難する場所



指定避難所

### 避難場所の確認

避難場所には種類があり、切迫した災害の危険から逃れるため、まず最初に避難する「指定緊急避難場所」などと、その後の避難生活を送るための「指定避難所」があります。

大雨で河川が氾濫している場合などは、外への移動が危険な場合もあります。外出が難しい場合は、緊急避難として「2階に避難する」などの対応も必要です。

普段から家族で避難場所や避難時の連絡方法などを話し合うとともに、避難経路を確認しておきましょう。

# 警戒レベル4で全員避難!!

**[警戒レベル]**で避難のタイミングをお伝えします。

2019年の出水期から、警戒レベルを用いた避難情報が発令されます。

警戒レベル3、4が発令された地域にお住まいの人は、速やかに避難してください。



逃げ遅れゼロへ!!

**[警戒レベル5]** (市町村発令) は既に災害が発生している状況です。

# 防災気象情報と避難情報

## 防災気象情報の入手方法

災害は情報である程度予測できる時代になっていきます。台風や豪雨などの場合、いち早く正確な情報を得ることが重要です。テレビ（ケーブテレビ）、ラジオ、パソコン、携帯電話、スマートフォン、音声告知放送などさまざまな情報源を積極的に活用しましょう。また、普段から避難場所や避難経路などを確認しておき、早めの避難を心掛けましょう。



## 情報収集おすすめサイト

### ① おかやま防災ポータル

県内の気象情報の確認ができるほか、「岡山防災情報メール」に登録をすることで、防災対策に役立つ情報がメールで送られてきます。



<http://www.bousai.pref.okayama.jp/bousai/sp/>

### ② 真庭市役所ホームページ

市内の避難所情報、交通情報など真庭市に住む皆さんにとって大切な情報が「重要なお知らせ」コーナーに随時掲載されます。



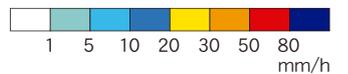
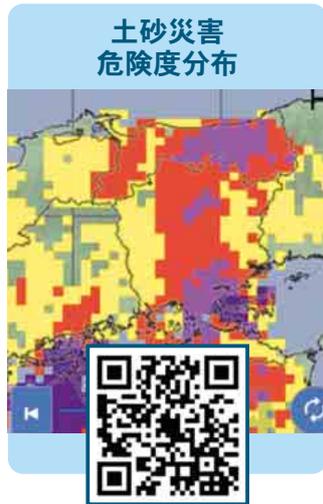
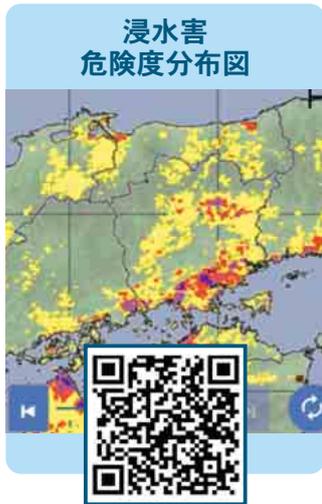
<http://www.city.maniwa.lg.jp/webapps/www/index.jsp>

### ③ 高解像度降水ナウキャスト

気象台が提供している高解像度降水ナウキャストでは、3時間前から現在の雨の状況と1時間後までの予想を確認することができます。また、大雨による三つの災害（土砂災害・浸水害・洪水害）の危険度分布を提示し、災害がどの地域で発生するおそれが高いかを、ひと目で分かりやすくお知らせしています。同じ地域に黄色や赤色の状態が長く続く場合には注意が必要で、濃い紫色で示される地域は非常に危険度が高まっています。

[http://www.jma.go.jp/jp/highresorad/m\\_index.html](http://www.jma.go.jp/jp/highresorad/m_index.html)

色分けされ情報で、地域の雨量などが分かりやすく表示される「高解像度降水ナウキャスト」



## 日頃の備えが大切

豪雨などの自然現象は、人間の力ではくい止めることはできません。しかし、気象災害による被害は、私たちの日ごろの備えによって軽減することが可能です。「自分でできること」「家族でできること」などについて考え、いつ起こるか分からない災害に備えましょう。

また、台風や大雨の危険が近づいているというニュースや気象情報を見たり聞いたりしたら、災害への備えを再度確認しましょう。そして、いざという時には、周囲の人にも声をかけ、ちゅうちよせず避難しましょう。

## 家の外の備え

家を災害から守るため、大雨が降る前、風が強くなる前に確認をし、メンテナンスをしておきましょう。

### 《事前に確認しましょう》

- 窓にひび割れやがたつきがないか。
- 倒れそうな庭木はないか。
- 側溝や排水溝にごみや土砂がたまっていないか。
- 瓦やとたんがめくれたり壊れたりしていないか。
- 雨どいに枯れ葉や砂が詰まっていないか。
- ブロック塀のひび割れや、石垣の崩れはないか。
- 家の外に風で飛ばされそうな物がないか。

## 家の中の備え

急な災害時に素早く避難できるように、まとめてリュックサックなどに詰めて、すぐ持ち出せる場所に常備しておきましょう。

### 《事前に確認しましょう》

- 非常用持ち出し品、非常用備蓄品の確認。  
※下記を参考に各家庭に必要な物を考えてみてください。
- 《災害が想定されるときには》
- 災害発生時には断水に備えて飲料水を確保するほか、浴槽に水を張るなどして生活用水を確保する。
- 万一の飛来物の飛び込みに備えてカーテンやブラインドをおろしておく。



## 準備しておきたい非常用持ち出し品と非常用備蓄品

### 非常用持ち出し品

素早く安全に避難できるよう持ち出し品は、まとめてリュックサックなどに詰め、いざというときすぐに持ち出せる場所に常備しておきましょう。

飲料水・食品生活用品	生活用品
<input type="checkbox"/> 飲料水（1人最低1.5ℓ） <input type="checkbox"/> 非常食 <input type="checkbox"/> レトルト食品	<input type="checkbox"/> 携帯ラジオ、懐中電灯、ランタン <input type="checkbox"/> 乾電池、携帯の充電器 <input type="checkbox"/> ヘルメット、防災ずきん、ふえ <input type="checkbox"/> 軍手、手袋、マスク、防寒具、雨具 <input type="checkbox"/> 着替え、下着、靴下 <input type="checkbox"/> 救急セット、常備薬、歯磨きセット <input type="checkbox"/> 紙皿、紙コップ、缶切り、栓抜き、割り箸 <input type="checkbox"/> ティッシュ、トイレットペーパー、生理用品 <input type="checkbox"/> ゴミ袋、簡易トイレ
貴重品	
<input type="checkbox"/> 現金、預金通帳、印鑑 <input type="checkbox"/> 健康保険証 <input type="checkbox"/> 免許証 <input type="checkbox"/> 権利証書 <input type="checkbox"/> アドレス帳	



### 非常用備蓄品

非常時に備えた備蓄品は、ライフラインが復旧するまでの数日間を生活できるように、最低3日分、できれば5日分を準備しておきましょう。

飲料水・食品・調理器具類	生活用品
<input type="checkbox"/> 飲料水（1人1日3ℓ程度） <input type="checkbox"/> 食品、缶詰 <input type="checkbox"/> 補助栄養食品、チョコレート <input type="checkbox"/> 調味料 <input type="checkbox"/> カセットコンロ、カセットボンベ <input type="checkbox"/> キャンプ用の食品セット <input type="checkbox"/> 粉ミルク、ほ乳びん、離乳食	<input type="checkbox"/> テント、防寒防水マット・シート <input type="checkbox"/> 毛布・寝袋 <input type="checkbox"/> ビニールシート、ロープ <input type="checkbox"/> 洗面用具 <input type="checkbox"/> バール、スコップ、ロープ <input type="checkbox"/> 簡易トイレ（1人1日5回分位） <input type="checkbox"/> 救急セット、常備薬 <input type="checkbox"/> トイレットペーパー、生理用品、紙おむつ <input type="checkbox"/> 避難行動要支援者が必要とするもの <input type="checkbox"/> 電話番号（本人、家族、関係者など）



イラスト：気象庁提供

# 地域とともに防災を考える

## 地域とともに 防災を考えます

危機管理課では、平成30年7月豪雨災害を受け、課題となった4つの検討テーマ「①自主防災組織の設立、②自主防災組織の強化、③指定緊急避難場所の見直し、④個別避難計画書づくり」について、昨年10月から12月にかけて振興局単位で防災説明会を開催し、地域の皆さんと課題の洗い出しや解決策の検討を行ってきました。今年度は、これらの課題を解決するための取り組みを行います。

### 自主防災組織の設立と強化

地域の防災には、自助・共助が重要となります。災害時に被害にあわないため、しっかりとした体制を整えていく必要があります。中でも**自主防災組織は地域の防災力の要**となります。

自主防災組織のない地域には、ぜひ組織を作っていた、大きく必要があります。また、現在ある自主防災組織の活動をより活性化させるため、平成30年2月3日に自主防災組織連絡協議会を設立しました。各自主防災組織がお互いの情報を共有し、それぞれの組織が充実するように支援していきます。

なお、地域のリーダー養成につ

いても引き続き防災士の養成を進めていきます。

### 指定緊急避難場所の見直し

指定緊急避難場所の見直しについては、収容可能な人数や避難場所までの距離などを地域で検討していただき、皆さんのご意見を反映させたものに見直しを行い防災マップに記載していきます。

### 個別避難計画書づくり

そして、最大の課題でもある災害発生時に避難支援が必要な人の避難計画ですが、真庭市では要支援者一人一人について、誰が支援してどこに避難するかを事前に決めておく、『**私の避難プラン(個別計画)**』を作っていきたいと考えています。



危機管理課  
佐々木 剛 課長

「私の避難プラン」を作るにあたっては、要支援者本人はもちろん、社会福祉協議会や民生委員など、日頃から支援をされている人たちと連携をしながら、**自主防災組織を中心に支援**していきたいと思えます。そのためにもまず市民の皆さんに、「私の避難プラン」のことを知っていただくため、7月中を目途に地域へ伺い説明をしていきます。

ぜひ、地域防災説明会への参加をお待ちしています。

「私の避難プラン」が整備されることは災害に強い、安心して暮らせる真庭市の第一歩になると考えています。

命を守るために、皆さんと一緒に考え防災支援をしていきますので、ご協力をよろしくお願いいたします。



告知放送端末は、朝は午前6時30分から、夜は午後7時30分からの通常のお知らせのほか、気象災害時には気象情報や避難に関する情報などもお知らせしています。火災発生時など緊急放送は、告知放送端末の設定にかかわらず最大音量で放送が流れますが、気象災害時の放送は、通常の放送の音量での放送になります。大雨などが降り続くときには、音量の確認をしてください。

また、告知放送端末は、乾電池を入れておくことで停電時にも放送を聞くことが可能なほか、避難時などに持ち出すことで、携帯用ラジオとして使用することができます。



## 地域の防災力 災害時の被害を抑える

### 自助

**自助**とは、「自らの身は自分で守る」ということです。まず自分自身で自分の命を守る行動ができるように、普段から災害に関する知識を身につけ、災害を正しく理解し、何を備えておけばよいのかを考え、災害に対する準備をしておいてください。

### 共助

**共助**とは、「自分たちの住んでいる地域は自分たちで守る」ということです。これが地域を守る最も効果的な方法です。災害時に頼りになるのは、隣近所の人たちです。普段から近所付き合いを大事にしておけば、近隣住民が何かあったときに助けてくれます。また、あなた自身が隣近所の人たちを助けに行くこともできます。

### 公助

**公助**とは、市役所や消防署、消防団、警察署、自衛隊などの活動のことです。平常時には、住民に防火意識の啓発を行い、関係機関と連携を密にして防災訓練などを実施して、災害時には被害の軽減を図るため防災情報を発信し、関係機関と協力して災害支援などを行います。

## ▶ 注意点

### ① 乾電池は1年に1回を目安に交換をお願いします。

- ・ 乾電池の容量が少なくなると、告知放送端末機の電源ランプが点滅します。新しい乾電池と交換をお願いします。
- ・ 単三乾電池（アルカリ乾電池推奨）が4本必要です。※故障の原因にもなるので、定期的に乾電池の交換をお願いします。

### ② 接続ランプが赤色で点滅している場合

- ・ ケーブルが断線しているか、受信レベルが悪く告知放送が聞こえない状態になっています。ケーブルの状況を確認し、電話（0800-200-8810）までお問い合わせください。



電源



接続



電池は裏面のカバーを開けて交換してください。